

## 「世界を知る：北米・オセアニア」

### 第1回講義（12月9日）への質問と回答

①レポートについて、留学生は本国の資料を使っても良いですか？

—それは構いません。レポートの中で、何の資料だったかを明記しておいてください。もし、日本語で書くのが難しければ、英語で書いても結構です。

②トランプは敗北を認めていませんが、選挙結果を変えることは可能ですか？

—もはや無理です。14日に各州で選挙人の投票が行われ、バイデン氏が306票、トランプ大統領が232票を獲得してバイデン氏の勝利が確定しました。

③郵便投票が民主党に有利なのはなぜですか？

—新型コロナウイルスの問題があったので、民主党は安全対策として支持者に郵便投票の活用を強く呼びかけました。このため、郵便投票分の7割から8割は民主党支持者の投票になりました。

一方、共和党はトランプ大統領がマスクも着用せず、無頓着だったので、いつものように選挙当日に投票所に行く人がほとんどでした。

④4年前の選挙で、トランプ氏はなぜクリントン候補に勝利できたのですか？

—生活が苦しくなっていた中西部のミシガン州やウィスコンシン州の低所得白人労働者に対して、自分は味方だと強く呼びかけたのが功を奏しました。本来なら民主党の地盤だった州（ペンシルベニア州を含む）で、現状に不満を持つ人たちの支持を集めることに成功したのです。

これに対し、クリントン氏は例えばウィスコンシン州では自分が勝利を収め

るのは当然と考え、遊説に一回も足を運ばなかったのです。また、ミシガン州では肝心の黒人有権者がクリントン氏は勝てると思って、投票に行かないケースが多かったことも民主党には痛手でした。バイデン氏はその教訓を生かして、今回はトランプ大統領を批判する一方で、民主党支持票を掘り起こす努力をして成功しました。

⑤世界的な株価上昇は、バイデン氏の勝利を喜んでいるということでしょうか。

—従来はトランプ大統領が勝てば株価は上がり、バイデン氏が勝てば、(大企業や富裕層への)増税になるので株価が下がると予想されていました。しかし、投票日が近づくにつれて、バイデン氏ならトランプ大統領のような予測のつかない政治にはならないという評価が高まり、それが株価上昇につながりました。

また、上院で共和党が多数派を維持する見通しも出てきたので、増税がすぐには実現しないとの見方が強くなりました。それが株価上昇要因にもなりました。

ただし、最近の株価の上昇や下落は政治や経済の実態を必ずしも反映しないケースが多いですから、一喜一憂しない方が良いと思います。

⑥アメリカの人種構成における白人の比重が小さくなりつつあるので、白人層には移民に国が奪われるという恐怖心があり、トランプ氏を支持しているのではないですか？

—そういう側面はあります。特に、2008年にオバマ氏が黒人初の大統領に就任したことで、南部の保守的な白人や低学歴の白人労働者層に危機意識が高まったことが、16年選挙におけるトランプ氏への支持増につながりました。

⑦今後、この講義でどのような点に焦点を当てて受講すれば良いですか？

—アメリカは他の国と成り立ちや発展がかなり異なります。ですから、建国からの歴史をしっかりと勉強することと、国の方向を決める際に大統領の存在が大きいですから、特に偉大と評される大統領の人柄や政策に注目してください。

⑧キリスト教徒が共和党を支持する理由が疑問です。

—キリスト教の保守派は人工妊娠中絶に反対したり、イスラエルの存在を強く支持する人が多いことから、共和党保守派を支持する傾向があります。特に、人口の4割近くを占めるキリスト教福音派（アメリカに特有の宗派です）は、トランプ氏の大きな支持基盤でした。ただし、今年の選挙では大統領を批判する人たちも結構出てきました。

⑨国民の半分が熱狂的にトランプ大統領を支持する要因は何でしょうか？

—半分ではありません。熱狂的に支持する人は3割ぐらいでしょう。しかし、選挙ではその人たちの固い支持が重要になります。トランプ大統領は破天荒なところがあるので、現状に不満を持つ人々が期待を寄せたのは間違いありません。ただし、4年間の政治を経て、その人たちの期待に応えたかといえば、そうでもなかった。それが、今回選挙での敗北につながっています。その意味では、アメリカの民主主義は機能しました。

⑩トランプ氏が主張していた選挙での不正はなかったのですか？

—それは、法廷闘争の結果が示しています。裁判で一部の選挙結果を覆すような不正は一つもありませんでした。しかも、ほぼすべての訴訟が門前払いです。つまり、トランプ大統領は選挙戦の途中から「不正選挙」を訴えていましたが、何の具体的根拠もなかったことが明らかになりました。

トランプ大統領の忠実な部下だったバー司法長官も、不正は見られなかったと発言せざるを得ませんでした。その発言に怒ったトランプ大統領は昨日、バー司法長官を辞任させています。

民主的に行われた投票結果を認めようとしないトランプ大統領にこそ、問題があると言えるでしょう。

（了）